



はじめに

HP Workstation

xw4100

xw4200

xw6200

xw8200

製品番号 : 361756-291

2004年6月

操作を始める前にまず本書をお読みください。本書では、ワークステーションのハードウェアおよび工場出荷時にインストール済みのソフトウェアをセットアップする手順について説明します。また、初期セットアップ時に発生する可能性があるトラブルに対する基本的な解決方法についても説明しています。

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Microsoft および Windows は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Adobe、Acrobat および Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Energy Star は米国 Environmental Protection Agency の米国における登録商標です。

Hewlett-Packard Company 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術のあるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護されている機密情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard の事前の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

はじめに

HP Workstation

xw4100

xw4200

xw6200

xw8200

初版 (2004 年 6 月)

製品番号 : 361756-291

目次

はじめに

1 ハードウェアのセットアップ

クイック セットアップ	1-1
xw4100/xw4200 フロント パネルのコンポーネント	1-2
xw6200 フロント パネルのコンポーネント	1-3
xw8200 フロント パネルのコンポーネント	1-4
xw4100 リア パネルのコンポーネント	1-5
xw4200 リア パネルのコンポーネント	1-6
xw6200 リア パネルのコンポーネント	1-7
xw8200 リア パネルのコンポーネント	1-8
キーボード	1-9
イージー アクセス ボタンのカスタマイズ	1-10
Windows® ロゴ キーの使用	1-11
マウス	1-12
シリアル番号と COA ラベルの位置	1-13

2 ソフトウェアのセットアップ

オペレーティング システムとソフトウェアのインストール とカスタマイズ	2-1
Windows がプリインストールされたワークステーション 2-1	
Linux がプリインストールされたワークステーション ... 2-5	
Linux-enabled ワークステーション	2-7
Hyper-Threading 技術	2-8
ワークステーションの電源を切る	2-9

3 機能およびアクセサリ

セキュリティ機能	3-1
シャーシ変換機能	3-2
アクセサリ	3-2

4 トラブルシューティング

お客様自身によるトラブルシューティング	4-1
HP Insight Diagnostics	4-1
HP Help and Support Center	4-2
E-Support	4-2
有用なヒント	4-2
基本的なトラブルシューティング	4-4
テクニカル サポートへの問い合わせ	4-24

索引

はじめに

お問い合わせ先

E-Support

テクニカル サポート情報およびツールにオンラインでアクセスするには、以下のサイトを参照してください。www.hp.com/support (日本語)
サポートリソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、テクニカル知識データベース、ドライバおよびパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、障害予測通知サービスがあります。

以下のサイトもご利用いただけます。

- www.hp.com (英語)
www.hp.com/jp (日本語) — 役立つ製品情報を提供します。
- www.hp.com/support/workstation_manuals (英語)
www.jpn.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html (日本語) — 最新のオンライン ドキュメントを提供します。

その他のドキュメント

その他の製品情報については、*Documentation Library* CD を参照してください。この CD には、PDF 形式の以下が入っています。

- 『Getting Started Guide』(Documentation Library CD に PDF 形式で入っているほか、印刷版も同梱されています。)
ハードウェアおよび工場出荷時にインストール済みのソフトウェアのセットアップ手順が記載されています。また、初回起動時に問題が発生したときのために、基本的なトラブルシューティング情報も含まれています。

- 『Service and Technical Reference Guide』(Web サイト (英語)へのリンクのみ。) 製品ハードウェア、トラブルシューティング方法、製品仕様、およびコンポーネントの取り外しと交換に関する概要が記載されています。また、RTC 用バッテリ、メモリのインストール、および電源についても説明しています。
- 『Safety and Comfort Guide』(Documentation Library CD に PDF 形式で入っています。)
安全で快適なワークステーション環境をセットアップするための、安全性および人間工学についての情報が記載されています。
- 『Safety & Regulatory Information Guide』(Documentation Library CD に PDF 形式で入っています。)
米国とカナダを始めとする各国の規制を遵守するための、安全性および規制に関する規約が記載されています。

Documentation Library CD の使用法

Documentation Library CD の内容にアクセスするには、使用しているワークステーションに応じて、次のいずれかの手順に従って操作してください。

Windows ワークステーション

Documentation Library CD を CD-ROM ドライブに挿入します。CD の内容が自動的に再生されます。2 分以上経っても CD が再生されない場合は、ワークステーションで CD の自動再生機能が有効になっていない可能性があります。この場合、CD の内容を再生するには、以下の手順に従って操作します。

1. [スタート]、[ファイル名を指定して実行] の順に選択します。
2. 以下のように入力します。
X:\index.htm (X は CD-ROM ドライブのドライブ名)
3. [OK] をクリックします。

Linux ワークステーション

ワークステーション上で Linux オペレーティング システムを実行している場合は、CD の内容を表示し、index.htm ファイルをクリックして、CD インターフェイスを起動します。CD 上のドキュメントを開くには、www.adobe.com (英語) から Adobe® Acrobat® Reader for Linux をダウンロードして、インストールしてください。

規制情報

製品のクラス情報については、*Documentation Library* CD 上の『Safety & Regulatory Information Guide』を参照してください。また、シャーシにあるラベルにもクラス情報が記載されています。

部品およびアクセサリ

現在サポートされているアクセサリおよびコンポーネントについては、以下のサイトを参照してください。

<http://partsurfer.hp.com> (英語)

Subscriber's Choice

Subscriber's Choice は、HP のプログラムで、登録するとドライバとソフトウェア警告、PCN (proactive change notifications 障害予測変更通知)、HP ニュースレターなどを受け取ることができます。登録するには、以下のサイトを参照してください。

www.hp.com/go/subscriberschoice (英語)

Product Bulletin

Product Bulletin には HP ワークステーションの QuickSpecs があります。QuickSpecs は、お使いの製品全体の仕様の概要について説明します。オペレーティング システム、電源、メモリ、プロセッサやその他たくさんのシステム コンポーネントの情報や機能が含まれます。

<http://h18000.www1.hp.com/products/quickspecs/productbulletin.html> (英語)

ハードウェアのセットアップ

クイック セットアップ

ワークステーションの梱包を解いたら、セットアップを行うのに適した作業スペースにワークステーションを置き、マウス、キーボード、モニタと電源ケーブルをワークステーションに接続します。モニタとワークステーションの電源ケーブルをコンセントに接続します。



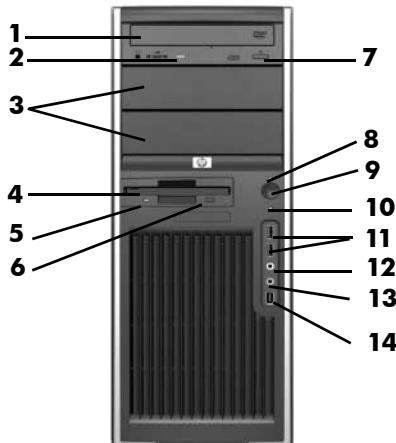
警告: xw4100 では、ワークステーションの電源を入れる前に、ワークステーションの背面にある電圧選択スイッチを適切な電圧に設定してください。



注記: プリンタなどの周辺機器は、そのデバイスに付属のドキュメントに記載された手順に従って接続してください。

ワークステーションの詳細は、*Documentation Library CD* を参照するか、
www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、
<http://www.jpn.hp.com/products/workstations/support/index.html> (日本語) にアクセスしてください。

xw4100/xw4200 フロント パネルのコンポーネント



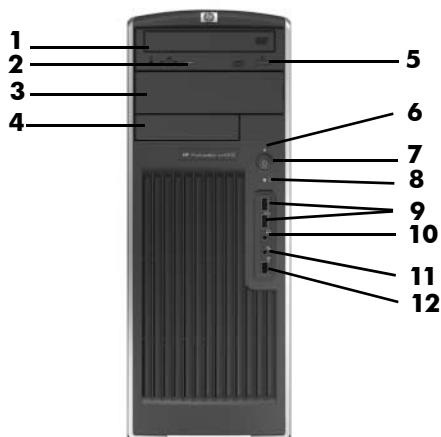
xw4100 フロント パネルのコンポーネント

項目	説明	項目	説明
1	オプティカル ドライブ *	8	電源ランプ
2	オプティカル ドライブ ランプ	9	電源ボタン
3	5.25 インチ ドライブ ベイ	10	ハード ディスク ドライブ ランプ
4	ディスクケット ドライブ	11	USB (Universal Serial Bus) ポート
5	ディスクケット ドライブ ランプ	12	ヘッドフォン コネクタ
6	ディスクケット取り出しボタン	13	マイク コネクタ
7	オプティカル ディスク取り出しボタン	14	IEEE-1394 コネクタ **

注記：* オプティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、または CD-RW/DVD コンボ ドライブを指します。

注記：** IEEE-1394 を付けずにワークステーションを購入した場合は、このコネクタは黒いラベルで覆われています。

xw6200 フロント パネルのコンポーネント



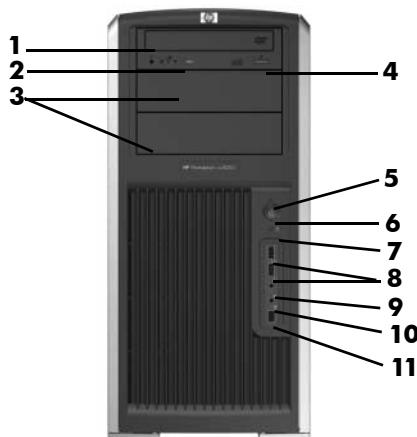
xw6200 フロント パネルのコンポーネント

項目	説明	項目	説明
1	オプティカル ドライブ *	7	電源ボタン
2	オプティカル ドライブ ランプ	8	ハード ディスク ドライブ ランプ
3	5.25 インチ ドライブ ベイ	9	USB ポート (2)
4	ディスクケット ドライブ	10	ヘッドフォン コネクタ
5	オプティカル ディスク取り出しボタン	11	マイク コネクタ
6	電源ランプ	12	IEEE-1394 コネクタ **

注記: * オプティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、または CD-RW/DVD コンボ ドライブを指します。

注記: ** IEEE-1394 を付けずにワークステーションを購入した場合は、このコネクタはリムーバブル プラグで覆われています。

xw8200 フロント パネルのコンポーネント

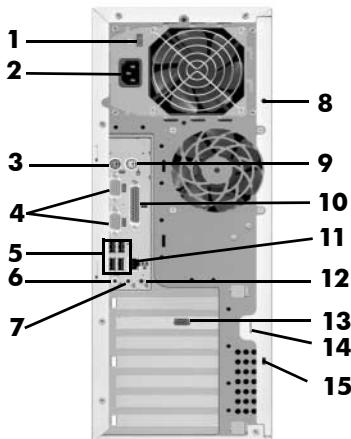


xw8200 フロント パネルのコンポーネント

項目	説明	項目	説明
1	オプティカル ドライブ *	7	ハード ディスク ドライブ ランプ
2	オプティカル ドライブ ランプ	8	USB ポート (2)
3	5.25 インチ ドライブ ベイ	9	ヘッドフォン コネクタ
4	オプティカル ディスク取り出しボタン	10	マイク コネクタ
5	電源ランプ	11	IEEE-1394 コネクタ
6	電源ボタン		

注記: * オプティカル ドライブは、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD+R/RW、または CD-RW/DVD コンボ ドライブを指します。

xw4100 リア パネルのコンポーネント

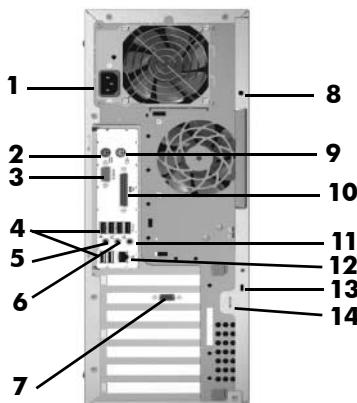


xw4100 リア パネルのコンポーネント

項目	コンポーネント	項目	コンポーネント
1	電圧選択スイッチ	9	マウス コネクタ (緑)
2	電源コード コネクタ	10	パラレル コネクタ (赤紫)
3	キーボード コネクタ (紫)	11	RJ-45 ネットワーク コネクタ
4	シリアル コネクタ (緑青)	12	オーディオ ラインイン コネクタ (水色)
5	USB ポート (4)	13	グラフィックス アダプタ (青)
6	マイク コネクタ (ピンク)	14	施錠用ループ
7	オーディオ ラインアウト コネクタ (ライムグリーン)	15	ケーブル ロック用スロット
8	ユニバーサル シャーシ クランプ開口部		

注記: 周辺機器を接続する際にわかりやすいように、各リア パネル コネクタには業界標準アイコンと色が付いています。

xw4200 リア パネルのコンポーネント

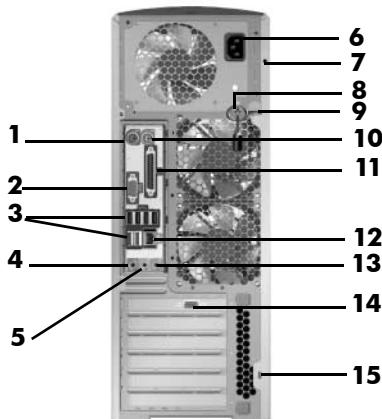


xw4200 リア パネルのコンポーネント

項目	コンポーネント	項目	コンポーネント
1	電源コード コネクタ	8	ユニバーサル シャーシ クランプ開口部
2	キーボード コネクタ (紫)	9	マウス コネクタ (緑)
3	シリアル コネクタ (緑青)	10	パラレル コネクタ (赤紫)
4	USB ポート (6)	11	オーディオ ラインイン コネクタ (水色)
5	マイク コネクタ (ピンク)	12	RJ-45 ネットワーク コネクタ
6	オーディオ ラインアウト コネクタ (ライムグリーン)	13	ケーブル ロック用スロット
7	グラフィックス アダプタ (青)	14	施錠用ループ

注記: 周辺機器を接続する際にわかりやすいように、各リア パネル コネクタには業界標準アイコンと色が付いています。

xw6200 リア パネルのコンポーネント

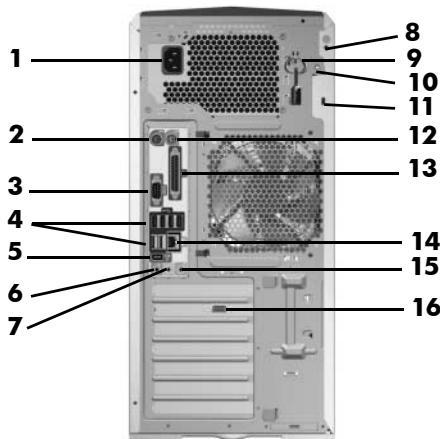


xw6200 リア パネルのコンポーネント

項目	コンポーネント	項目	コンポーネント
1	キーボード コネクタ (紫)	9	施錠用ループ
2	シリアル コネクタ (緑青)	10	マウス コネクタ (緑)
3	USB ポート (6)	11	パラレル コネクタ (赤紫)
4	マイク コネクタ (ピンク)	12	RJ-45 ネットワーク コネクタ
5	オーディオ ラインアウト コネクタ (ライムグリーン)	13	オーディオ ラインイン コネクタ (水色)
6	電源コード コネクタ	14	グラフィックス アダプタ (青)
7	ユニバーサル シャーシ クランプ開口部	15	ケーブル ロック用スロット
8	アクセス パネル キー		

注記: 周辺機器を接続する際にわかりやすいように、各リア パネル コネクタには業界標準アイコンと色が付いています。

xw8200 リア パネルのコンポーネント

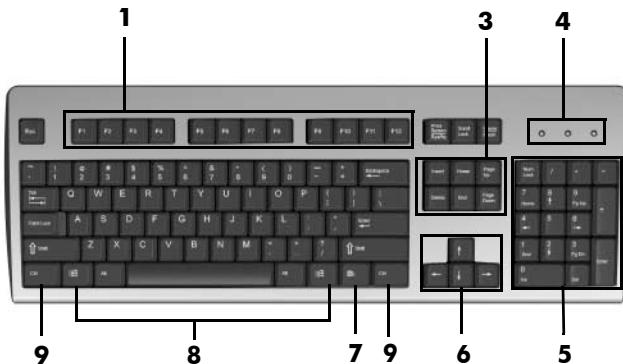


xw8200 リア パネルのコンポーネント

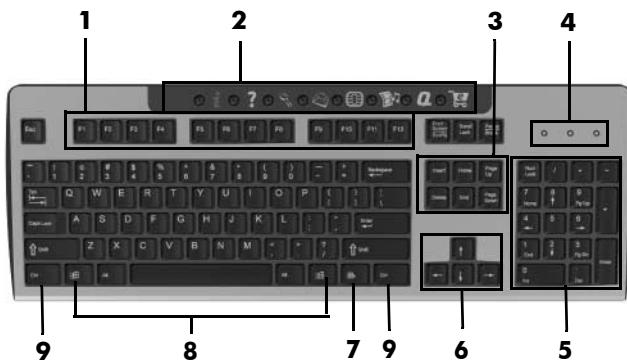
項目	コンポーネント	項目	コンポーネント
1	電源コード コネクタ	9	アクセス パネル キー
2	キーボード コネクタ	10	施錠用ループ
3	シリアル コネクタ (緑青)	11	ケーブル ロック用スロット
4	USB ポート (6)	12	マウス コネクタ (緑)
5	IEEE 1394 コネクタ	13	パラレル コネクタ (赤紫)
6	マイク コネクタ (ピンク)	14	RJ-45 ネットワーク コネクタ
7	オーディオ ラインアウト コネクタ (ライムグリーン)	15	オーディオ ラインイン コネクタ (水色)
8	ユニバーサル シャーシ クランプ開口部	16	グラフィックス アダプタ (青)

注記: 周辺機器を接続する際にわかりやすいように、各リア パネル コネクタには業界標準アイコンと色が付いています。

キーボード



標準キーボード



xw4100 イージー アクセス キーボード

注記: イージー アクセス キーボードは、xw4100 でのみ利用可能です。

項目	コンポーネント	説明
1	ファンクションキー	使用されているソフトウェア アプリケーションに応じて、特別な機能を実行します。
2	イージー アクセス ボタン	インターネットの特定の Web サイトにすばやくアクセスできます。また、任意のファイルやアプリケーションに割り当てることもできます。(xw4100 のキーボードでのみ利用可能)
3	編集キー	[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]、および [Page Down] の各キーがあります。
4	ステータス ランプ	ワークステーションおよびキーボード設定のステータスを示します (Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock)。
5	テンキー	計算機のように使用できます。
6	矢印キー	ドキュメントまたは Web サイト内を移動するために使用します。矢印キーを使うと、マウスの代わりにキーボードを使って、上下左右に移動できます。
7	アプリケーションキー*	マウスの右ボタンと同様に、Microsoft™ Office アプリケーション内でポップアップ メニューを表示させるために使用します。また、他のソフトウェア アプリケーションでは別の機能を実行することもできます。
8	Windows® ロゴ キー*	Microsoft Windows の [スタート] メニューを開くために使用します。他のキーと組み合わせて、その他の機能を実行できます (Microsoft Windows がプリインストールされたワークステーションでのみ利用可能)。
9	[Ctrl] キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、使っているアプリケーション ソフトウェアによって異なります。

注記：* 一部の地域でのみ使用可能なキーです。

イージー アクセス ボタンのカスタマイズ

すべてのイージー アクセス ボタンは、ハード ディスク上のどのソフトウェア アプリケーションやデータ ファイルを開くようにも、またどのインターネット アドレスにアクセスするようにも設定できます。

注記：イージー アクセス ボタンは、Linux ワークステーションでは機能しません。

イージー アクセス ボタンを設定し直すには、以下の手順に従って操作します。

1. Windows タスクバーの通知領域(画面の右下隅)にあるキーボードアイコンをダブルクリックします。
2. [キーボードのプロパティ] ウィンドウの [ヘルプ] ボタンをクリックしてヘルプを表示し、画面の指示に従って操作します。

Windows® ロゴ キーの使用

Windows ロゴ キーと他のキーを組み合わせて、Windows オペレーティング システムで利用できるさまざまな機能を実行することができます。

注記: Windows ロゴ キーは、Linux ワークステーションでは機能しません。

Windows ロゴ キー	Windows の [スタート] メニューを表示または非表示にします。
Windows ロゴ キー + [D]	デスクトップを表示します。
Windows ロゴ キー + [M]	開いているすべてのアプリケーションを最小化します。
[Shift] + Windows ロゴ キー + [M]	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します。
Windows ロゴ キー + [E]	エクスプローラの [マイコンピュータ] を起動します。
Windows ロゴ キー + [F]	ファイルやフォルダの検索を起動します。
Windows ロゴ キー + [Ctrl] + [F]	他のコンピュータの検索を起動します。
Windows ロゴ キー + [F1]	Windows のヘルプ画面を表示します。
Windows ロゴ キー + [L]	ネットワーク ドメインに接続している場合は、コンピュータがロックされます。ネットワーク ドメインに接続していない場合は、ユーザーの切り替えが可能になります。
Windows ロゴ キー + [R]	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを表示します。
Windows ロゴ キー + [U]	ユーティリティ マネージャを起動します。
Windows ロゴ キー + [Tab]	タスクバー ボタンを切り替えます。

マウス

ほとんどのアプリケーションは、マウスの使用をサポートしていますが、マウスボタンに割り当てられている機能は、アプリケーションによって異なります。

注記: キーボードとマウスが KVM (キーボード、ビデオ、マウス) スイッチで接続されている場合、マウスソフトウェアアプリケーションによっては、キーボードとマウスの機能に支障をきたすことがあります。キーボードとマウスからの「反応がない」場合は、マウスソフトウェアをアンインストールするか、キーボードとマウスを直接ワークステーションのキーボードとマウスのコネクタに接続する必要があります。

シリアル番号と COA ラベルの位置

各ワークステーションには、固有のシリアル番号ラベルが 2 つと、COA(certificate of authentication) ラベル (Windows がプリインストールされたワークステーションのみ) が 1 つ付いています。一般的に、シリアル番号ラベルは、ワークステーションのトップパネルまたは側面のパネルと背面側に貼られています。HP のサポート窓口へのお問い合わせの際には、この番号をお手元に用意しておいてください。COA ラベルは、一般的にトップパネルまたはアクセスパネルのシリアル番号ラベルの側にあります。

2



シリアル番号と COA ラベルの位置

項目	説明
1	シリアル番号の位置
2	COA ラベルの位置 (Windows がプリインストールされたワークステーションのみ)

ソフトウェアのセットアップ

オペレーティング システムとソフトウェア のインストールとカスタマイズ

この項では、ワークステーション上で実行するソフトウェアおよびオペレーティングシステムの構成について説明します。以下のワークステーションについて解説します。

- 「Windows がプリインストールされたワークステーション」
- 「Linux がプリインストールされたワークステーション」
- 「Linux-enabled ワークステーション」



注意: オペレーティング システムが正しくインストールされるまで、オプションのハードウェアやサード パーティのデバイスをワークステーションに追加しないでください。エラーの原因となり、オペレーティング システムの正しいインストールの妨げとなることがあります。

Windows がプリインストールされたワークステーション

ワークステーションに Windows がプリインストールされたワークステーションを使用している場合は、この項の手順に従って、オペレーティング システムおよびソフトウェアをセットアップしてください。

オペレーティング システムの起動

ワークステーションの電源を初めて入れると、オペレーティング システムが自動的にインストールされます。このプロセスには、約 5 ~ 10 分かかります。画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。



注意: 自動インストール プロセスが始まった後、プロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール プロセス中にワークステーションの電源を切ると、ワークステーションを制御するソフトウェアを損傷したり、ソフトウェアが正しくインストールされるのを妨げたりする可能性があります。

注記: OS の初期ブート中に言語を選択した後、言語は HDD の UIA セクタにより保存されます。何かの理由でシステムが復元された場合、restore CD は UIA に格納された言語を確認して、元のプリインストールされた言語だけを復元します。新しい HDD がインストールされ UIA がないか UIA が空の場合は、Recovery CD は要求された言語をインストールします。初期ブート中に言語を誤って選択した場合は、HP のサポート窓口に連絡してロックを解除する「キー」を入手して、OS を正しい言語に復元することができます。

オペレーティング システムのインストールおよび構成手順の詳細は、ワークステーションに同梱されているオペレーティング システムのドキュメントを参照してください。また、オペレーティング システムのインストール後に参照可能なオンライン ヘルプにも、その他の詳しい情報が記載されています。

ソフトウェアの復元

元のオペレーティング システムおよび工場出荷時にインストールされたソフトウェアを復元するには、ワークステーションに同梱されている *Restore Plus! CD* と OS CD を使用します。*Restore Plus! CD* に含まれている手順に従って復元してください。

注記: *Restore Plus! CD* を使ってワークステーションを復元した場合、電力管理設定 (Energy Star® 設定等) などは適用し直す必要があります。

デバイス ドライバのインストールまたはアップグレード

オペレーティング システムのインストール完了後にオプションのハードウェア デバイスをワークステーションに取り付ける場合、各デバイスに対するドライバもインストールする必要があります。

I386 ディレクトリを指定するよう求められたら、表示されているパスを C:\i386 に変更するか、ダイアログ ボックスの [参照] ボタンを使って I386 フォルダの場所を指定します。これにより、オペレーティング システムに対して適切なドライバが置かれている場所を指定します。

オペレーティング システム用のサポート ソフトウェアなど、最新のサポート ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

www.hp.com/go/workstationsupport (英語)

最新のサポート ソフトウェアは、Support Software CD Kit から入手することができます。Support Software CD Kit の契約は Support Software Management の注文フォームを使って以下の Web サイトで行なうことができます。

<http://h18007.www1.hp.com/support/files/workstations/us/purchase.html> (英語)

このサイトには契約の方法に関する情報もあります。

注記 : ワークステーションにオプティカル RW ドライブが搭載されている場合、そのドライブに書き込むには、適切なアプリケーションをインストールする必要があります。アプリケーションをインストールするには、オプティカル ソフトウェアアプリケーション CD を使って、適切なアプリケーションを読み込んでください。

Energy Star

Energy Star® は、日米両政府によって支援されている、省エネルギー化推進プログラムで、自宅およびオフィスでのエネルギー消費を抑えるためのさまざまな方法を提案しています。

注記 : Linux ワークステーションは Energy Star には対応していません。

Energy Star に対応しており、この機能が有効になっているワークステーションでは、電力管理機能は以下のように設定されます。

- モニター 無活動状態が 20 分間続くと、スタンバイ モードになります。(xw4100 は 15 分)
- ワークステーション 無活動状態が 20 分間続くと、スタンバイ モードになります。(xw4100 は 15 分)

- ハード ディスク ドライブ — ワークステーションがスタンバイ モードになると、省電力モードになります。

注記: オペレーティング システムの復元が必要になった場合、Energy Star 設定は復元後に再セットしなければなりません (Energy Star 設定を行っている場合)。

注記: Energy Star の詳細は、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。
(www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

アクセシビリティ機能

HP は、あらゆるお客様にとって使い易い製品、サービス、およびプログラムを開発することに全力を注いでいます。

Microsoft Windows XP がプリインストールされた HP 製品は、アクセシビリティを考慮して設計されており、業界トップのアシスティブ テクノロジ (支援技術) 製品を使用してテストされています。

HP のアクセシビリティ機能は、誰もが技術を利用するすることを可能にします。

モニタ ディスプレイのカスタマイズ

モニタのモデル、リフレッシュ レート、画面解像度、色設定、フォント サイズ、および電力管理設定は、手動で選択または変更することができます。これには、Windows のデスクトップを右クリックしてから [プロパティ] をクリックして、表示設定を変更します。詳細は、グラフィックス コントローラ ユーティリティに付属のオンライン ドキュメントまたはモニタに付属のドキュメントを参照してください。

Linux がプリインストールされたワークステーション

Linux がプリインストールされたワークステーションを使用している場合は、この項の手順に従って、オペレーティングシステムおよびソフトウェアをセットアップしてください。

ブートプロセスが完了したら、インターネット ブラウザを開くことによって(ブラウザは、デフォルトでワークステーション上の HP ドキュメント ページを表示するように自動的に設定されています)、HP Linux についての詳しい情報を参照することができます。またインターネット ブラウザを使って、Red Hat の Linux Web リンクにアクセスすることもできます(インターネットにアクセスできる環境が必要です)。

注記: Linux がプリインストールされたワークステーションまたは Linux-enabled ワークステーションのセットアップに関する追加情報については、以下の Web サイトの『HP User Manual for Linux』を参照してください。

www.hp.com/support/linux_user_manual (英語)

HP と Linux についての追加情報は、以下の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/linux (英語)

Linux オペレーティング システムの起動

ワークステーションを初めてブートすると、Red Hat First Boot ユーティリティが表示されます。このプログラムでは、ワークステーションのパスワード、ネットワーク、グラフィックス、時刻、およびキーボード設定を指定することができます。



注意: 自動インストールが始まったら、プロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール プロセス中にワークステーションの電源を切ると、ワークステーションを制御するソフトウェアを損傷したり、ソフトウェアが正しくインストールされるのを妨げたりする可能性があります。

注記: Linux Setup Tool ユーティリティの [Network] タブで [YPBind] 機能を有効にすると、設定を選択して保存し、ユーティリティを終了した後に、約 15 ~ 30 秒間、画面に何も表示されなくなることがあります。これは正常な状態です。画面の表示が元に戻ると、ブート プロセスが続行します。

Linux オペレーティング システムの復元

注記 : Linux OS を復元するには、HP Driver CD および Red Hat box set が必要です。

最新の HP Driver CD をダウンロードして新しい強化機能を入手してください。

最新の HP Driver CD のダウンロード

最新の HP Driver CD をダウンロードするには、以下の手順に従います。

1. HP support web サイトの適切なワークステーションプラットフォームのページから (www.hp.com/support/xw4100 (英語) など) ローカルハードディスクドライブに ISO イメージをダウンロードします。
 - a. **[download drivers and software]** リンクをクリックします。
 - b. お使いの box set にあう Linux OS を選択します。
 - c. Utility Tools の項目で最新のバージョンを選択します。
 - d. ダウンロードして解凍します。(`tar zxvf filename.tgz`)
2. ISO イメージを CD-R のブート可能メディアにコピーします。別の Linux ワークステーションでは、`cdrecord`ユーティリティを使います。CD バーナー (`cdrecord --scanbus`) のデバイスアドレスを確認します。
デフォルトは通常 2,0,0 です。

例 :

```
cdrecord -v -eject dev=2,0,0 CD0_golden.iso
```

HP Driver CD でのインストール

HP Driver CD でインストールするには、以下の手順に従います。

1. ワークステーションを Red Hat box set Binary CD 1 からブートします。
2. 画面の指示に従って Red Hat box set の Linux オペレーティングシステム CD を挿入します。
3. オペレーティングシステムが正常にインストールされるまで、画面の指示に従います。

4. リブート時に起動する X サーバーを設定します。
5. ワークステーションをリブートします。
6. 画面の指示に従い、Red Hat First Boot ユーティリティでワークステーションをセットアップします。
7. First Boot で追加の CD を求められたら、HP Driver CD をワークステーションの CD-ROM のトレイに挿入します。
8. "Additional CDs" の横の [**Install**] をクリックします。
HP Driver CD のウィンドウが開きます。
9. [**Press to begin install...**] をクリックします。
10. インストールが終わると、左側に "Reboot now..." と右側に "Press to continue, reboot later..." の 2 つのオプションが表示されます。
11. [**Reboot now...**] をクリックします。

デバイス ドライバのアップグレード

Linux デバイス ドライバのアップグレードが必要になった場合は、以下の HP の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/go/workstationsupport (英語)

Linux-enabled ワークステーション

Linux-enabled ワークステーションには、Linux がプリインストールされていません。HP Installer Kit for Linux と Red Hat box set の購入が必要です。Installer Kit には、すべてのバージョンの Red Hat box set のインストールを完了するのに必要な HP CD が含まれます。Red Hat box set は HP ワークステーションのハードウェア上での正常な動作が確認されています。

ハードウェア互換性の確認

Linux のどのバージョンが HP ワークステーションのハードウェア上で正常に動作するかを確認するには、以下の手順に従います。

1. www.hp.com/support/workstation_manuals (英語) にアクセスします。
2. お使いの HP ワークステーションのモデルを選択します。

3. [Hardware Support Matrix for Linux] リンクをクリックします。

Linux オペレーティング システムのインストール

Linux-enabled ワークステーションに Linux オペレーティング システムをインストールするには、以下の手順に従います。

1. 前の項の「Linux オペレーティング システムの復元」の手順に従います。
2. 前の項の「Linux オペレーティング システムの起動」の手順に従います。

注記: Linux がプリインストールされたワークステーションまたは Linux-enabled ワークステーションのセットアップに関する追加情報については、以下の Web サイトの『HP User Manual for Linux』参照してください。

www.hp.com/support/linux_user_manual (英語)

HP と Linux についての追加情報は、以下の Web サイトを参照してください。
www.hp.com/linux (英語)

デバイス ドライバのアップグレード

Linux デバイス ドライバのアップグレードが必要になった場合は、以下の HP の Web サイトにアクセスしてください。

www.hp.com/go/workstationsupport (英語)

Hyper-Threading 技術

Hyper-Threading 技術は Intel® で開発された高性能技術で、1 つのプロセッサでの複数の命令スレッドの同時実行を可能にします。

Hyper-Threading 技術により、プロセッサは実行リソースをより効率的に使用することが可能になり、性能およびユーザーの生産性が向上します。ただし、すべてのシステム アプリケーションで Hyper-Threading 技術が有効なわけではありません。

Hyper-Threading 技術を活用できるかどうかを確認するには、この機能をオンにしてワークステーションをテストします。この機能のオン / オフの切り替えは、BIOS セットアップ メニューを使って行います。これには、ブート時に BIOS セットアップを実行し、[Advanced] (カスタ

ム)】、【**Device Options** (デバイス オプション)】、
【**Hyper-Threading** (ハイパースレッディング)】の順に選択し、その後、Hyper-Threading 技術を有効または無効にすることを選択します。

注記: ワークステーションが Hyper-Threading 技術に対応していない場合は、
【**Computer Setup**】メニューには【Hyper-Threading】メニュー項目は表示されません。

注記: Hyper-Threading 技術を有効にするには、Linux システムでは最新のシステム BIOS と SMP カーネル (1 つのプロセッサがインストールされたシステム) が必要です。Linux がプリインストールされたワークステーションまたは Linux-enabled ワークステーションのセットアップに関する追加情報については、以下の Web サイトの『HP User Manual for Linux』参照してください。
www.hp.com/support/linux_user_manual (英語)

Hyper-Threading 技術の詳細は、Intel® の Web サイト (www.intel.com) を参照してください。

ワークステーションの電源を切る

ワークステーションの電源を正しく切るには、先にオペレーティングシステム ソフトウェアをシャットダウンする必要があります。



注意: ワークステーションの電源を強制的に切ると、データが失われることがあります。

ワークステーションの電源を手動で切るには、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。ただし、電源を手動で切ると、スタンバイ状態がバイパスされ、その結果、データが失われることがあります。

電源ボタンがオン / オフモードで機能するように設定し直すには、コンピュータ セットアップ (F10) を実行します。コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティの詳細は、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

機能およびアクセサリ

セキュリティ機能

このワークステーションでは、以下のセキュリティ機能を使用できます。

- ソレノイド カバーロック — これはソフトウェア制御可能なカバーロックであり、セットアップ パスワードを使って制御します。このロックによって、承認されていないユーザーによるコンピュータ内部のコンポーネントへの不正なアクセスを防ぐことができます。

注記: この機能は xw8200 では利用できません。

- ケーブル ロック — このワークステーションには、オプションのケーブル ロック用のケーブル ロック用スロットが備わっています。これにより机などの固定された物や重い物に装置を固定することができます。
- 施錠用ループ — このワークステーションは、標準で施錠用ループが利用可能で、アクセス パネルをシステム シャーシに施錠して固定することができます。
- アクセス パネル ロック — ワークステーションによっては、アクセス パネルにワークステーション内部へのアクセスを防ぐキーロックが備わっています。キーロックのキーは、ワークステーションの背面にあります。
- ユニバーサル シャーシ クランプ ロック — すべてのワークステーションはオプションの特注設計のオールインワン ソリューションをサポートします。モニタ、キーボード、マウスやスピーカー ケーブルを固定すると同時に内部コンポーネントを保護します。
- ポート セキュリティ プラケット — xw4100 と xw4200 はこのオプションをサポートします。ワークステーションのメイン I/O パネルに接続された I/O コンポーネントの取り外しを保護します。

これらの機能の詳細は、本書の前で説明したリア パネルの図を参照するか、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。

(www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

シャーシ変換機能

xw4100 と xw4200 は CMT (convertible minitower) ワークステーションです。ミニタワー構成からデスクトップ構成に（またはデスクトップからミニタワーに）物理的に再構成することができます。ワークステーションを変換する手順と詳細については、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。

(www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

アクセサリ

HP xw シリーズ ワークステーションは、いくつかの HP のアクセサリで拡張することができます。これらのオプションには以下があります。

- グラフィックス カード
- メモリ
- ディスクケット ドライブ
- オプティカル ドライブ
- ハード ディスク ドライブ
- プロセッサ
- オーディオ カード

利用可能なワークステーション オプションの詳細については、

www.hp.com/workstations/ (英語)、

<http://www.jpn.hp.com/products/workstations> (日本語) を参照してください。コンポーネントのインストールと取り外しの手順については、

『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。

(www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

トラブルシューティング

お客様自身によるトラブルシューティング

この項では、ヘルプ ツールとワークステーションのトラブルシューティングに使うトラブルシューティングの表について説明します。

HP Insight Diagnostics

HP Insight Diagnostics は、システムのテストを実行するオンライン診断ユーティリティです。このユーティリティを使うと、システムハードウェアをテストしたり、システムのハードウェア構成情報を表示することができます。

HP Insight Diagnostics ユーティリティを使うには、*HP Insight Diagnostics* CD をワークステーションに挿入してブートします。画面上のメニュー オプションと指示に従い、テストを開始します。

注記 : *HP Insight Diagnostics* CD がない場合は、以下からイメージをダウンロードできます。 www.hp.com/go/workstationsupport (英語)

1. お使いのワークステーション モデルのリンクをクリックし、[download drivers and software] リンクをクリックします。
 2. お使いの言語を選択して、適切なオペレーティング システムのリンクをクリックします。
 3. [download drivers and software] 画面から、[Diagnostics] リンクをクリックし、適切な診断プログラム リンクをクリックします。
-

HP Insight Diagnostics の使用についての詳細は、プログラム内の [Help] タブをクリックするか、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。Web リンクは *Documentation Library* CD にあります。

HP Help and Support Center

HP Help and Support Center は、Windows XP のヘルプとサポート センター機能を拡張してカスタマイズした HP のユーザー インターフェイスです。[スタート]、[ヘルプとサポート センター] の順にクリックして、このカスタマイズされたユーティリティを使うと、構成情報などのお使いの HP ワークステーションに関する特定の情報にアクセスすることができます。このインターフェイスでは、カスタマイズされたヘルプとお使いの HP ワークステーションに関する HP の Web サイトへのサポート リンクも提供します。

E-Support

テクニカル サポート情報およびツールにオンラインでアクセスするには、以下のサイトを参照してください。www.hp.com/support (日本語) サポート リソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、テクニカル知識データベース、ドライバおよびパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、障害予測通知サービスがあります。

以下のサイトもご利用いただけます。

- www.hp.com (英語)
www.hp.com/jp (日本語) — 役立つ製品情報を提供します。
- www.hp.com/support/workstation_manuals (英語)
www.jpn.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html (日本語) — 最新のオンライン ドキュメントを提供します。
- <http://www.hp.com/go/workstationsupport> (英語)
<http://www.jpn.hp.com/products/workstations/support/index.html> (日本語) — ワークステーションのテクニカル サポート情報を提供します。

有用なヒント

ワークステーション、モニタ、またはソフトウェアで、それほど深刻ではない問題が見つかった場合は、次の行動に進む前に、まず以下の一般的なヒントを参照してください。

起動時

- ワークステーションとモニタの電源プラグが、問題なく機能しているコンセントに差込まれていることを確認します。

- 電圧選択スイッチが、地域に適した電圧 (115V または 230V) に設定されていることを確認します。これは xw4100 のみです。
- ワークステーションの電源を入れる前に、すべてのディスクケットを取り出します。
- ワークステーションの電源が入っており、緑色の電源ランプが点灯していることを確認します。
- 工場出荷時にインストールされたオペレーティング システム以外のオペレーティング システムをインストールした場合は、そのオペレーティング システムの使用がワークステーションでサポートされていることを確認します。
- モニタの電源が入っており、緑色のモニタ電源ランプが点灯していることを確認します。
- モニタが暗い場合は、モニタの輝度とコントラストを調節します。
- ワークステーションに複数のビデオ ソースがインストールされていて、モニタが 1 台しかない場合は、モニタはプライマリ VGA アダプタとして選択されているモニタコネクタに接続する必要があります。起動時に、その他のモニタコネクタはすべて無効として設定されるため、これらのポートのいずれかに接続されていると、そのモニタは機能しません。デフォルトの VGA ソースは、コンピュータ セットアップ (F10) を使って選択できます。

操作中

- ワークステーションの前面にある LED が点滅していないか確認します。LED の点滅は特定のエラー コードを表し、問題を診断する手助けとなります。詳細は、この章のランプおよびビープ音の意味の項を参照してください。
- いずれかのキーを押し続けます。ビープ音が鳴った場合、キーボードは正常に機能しています。
- 接続が緩んでいたり、間違っていたりしないか、すべてのケーブルの接続部を確認します。
- キーボードのいずれかのキーか、電源ボタンを押すことによって、ワークステーションを復帰させます。ワークステーションが一時停止モードのままの場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けることによって、ワークステーションをシャットダウンします。その後、電源ボタンを再び押して、ワークステーションを再起動します。ワー

クステーションがシャットダウンしない場合は、電源コードを抜き、数秒経ってから再び差し込みます。ワークステーションが自動的に再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動します。

- プラグ アンド プレイ対応ではない拡張ボードやその他のオプションを取り付けた後は、ワークステーションを再構成する必要があります。構成手順については、「ハードウェアの設置に関する問題の解決方法」を参照してください。
- 必要なデバイスドライバがすべてインストールされていることを確認します。たとえば、プリンタを接続した場合は、プリンタドライバをインストールする必要があります。
- ネットワーク上で作業している場合は、他のワークステーションで正常に機能しているケーブルを使用してネットワークに接続します。ネットワーク プラグかケーブルに問題があることがあります。
- 最近新しいハードウェアを追加した場合、ハードウェアを取り外してワークステーションが正常に機能することを確認します。
- 最近新しいソフトウェアをインストールした場合、ソフトウェアをアンインストールしてワークステーションが正常に機能することを確認します。
- 画面に何も表示されない場合、利用可能なものがあれば、モニタをワークステーションの異なるビデオ ポートに接続します。または、モニタを正常に動作しているモニタに変更します。
- 詳細は、『Service and Technical Reference Guide』のトラブルシューティングの章を参照してください。Web リンクは *Documentation Library CD* にあります。
(www.hp.com/support/workstation_manuals (英語))

基本的なトラブルシューティング

この項では、初期セットアップ中に発生する可能性がある問題について説明します。詳細なトラブルシューティング情報については、*Documentation Library CD* に入っている『Service and Technical Reference Guide』の Web リンクおよび以下の HP の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/workstationsupport (英語)

一般的な問題の解決方法

この章で説明するような一般的なトラブルは、ご自身で簡単に解決できる場合があります。トラブルが繰り返し発生し、ご自身で解決できない場合、または解決方法の実行に不安がある場合は、HP のサポート窓口にご相談ください。

問題	原因	解決策
ワークステーションがロックされており、電源ボタンを押しても電源が切れない。	電源スイッチのソフトウェア制御が機能していません。	電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、ワークステーションの電源を切ります。
ワークステーションが USB キーボードまたはマウスに反応しない。	ワークステーションが スタンバイ モードになっています。	電源ボタンを押して、 スタンバイ モードを解除します。
<p>注意: スタンバイ モードを解除する際、電源ボタンを 4 秒以上押し続けないでください。4 秒以上押し続けると、ワークステーションがシャットダウンし、データが失われます。</p>		
ワークステーションの日時表示が正しくない。	RTC (Real Time Clock) バッテリを交換する必要がある可能性があります。 注記: ワークステーションを AC コンセントに接続すると、RTC バッテリの寿命が伸びます。	まず、コンピュータ セットアップ (F10) を使って、日時をリセットします。それでも問題が解決しない場合は、RTC バッテリを交換します。新しいバッテリの取り付け方法については、『Service and Technical Reference Guide』を参照してください。また、RTC バッテリの交換については、公認代理店までお問い合わせください。
ワークステーションが周期的に一時停止する。	ネットワーク ドライバがロードされているのに、ネットワーク接続が確立されていません。	ネットワーク接続を確立するか、コンピュータ セットアップ (F10) を使ってネットワークコントローラを無効に設定します。

問題	原因	解決策
キーパッドの矢印キーを使っても、カーソルが動かない。	[Num Lock] キーがオンになっている可能性があります。	[Num Lock] キーを押します。[Num Lock] ランプが点灯しているときは、矢印キーは使用できません。[Num Lock] キーはコンピュータセットアップ (F10) を使って、無効または有効に設定できます。
ワークステーションのカバー (アクセス パネル) を取り外せない。	(一部のワークステーションに備わっている) ソレノイド カバー ロックが設定されています。	コンピュータ セットアップ (F10) を使って、ソレノイド カバー ロックを解除します。ソレノイド カバー ロック FailSafe Key(ソレノイド カバー ロックを手動で無効に設定するためのデバイス) は HP から入手できます。FailSafe Key は、パスワードを忘れた、停電した、またはワークステーションが故障した場合に必要になります。(xw8200 にはありません)
パネルがロックされています。(xw6200 と xw8200)	パネルがロックされています。(xw6200 と xw8200)	装置の背面にあるキーを使って、パネルのロックを解除します。
パフォーマンスが低下している。	プロセッサの温度が高くなっています。	1. ワークステーション内の空気の流れが阻害されないことを確認します。 2. ファンが接続され、正しく動作していることを確認します。 3. プロセッサの放熱板が正しく取り付けられていることを確認します。
ハードディスク ドライブがいっぱいです。	ハードディスク ドライブの空き容量を増やすために、データを別の場所に移動します。	

問題	原因	解決策
ワークステーションの電源が自動的に切れ、電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、2 回点滅し、その後 2 秒間停止する。(xw4200、xw6200、xw8200 ではビープ音が 2 回します。)	<p>以下のいずれかの理由により、プロセッサの過熱防止機能が作動しています。</p> <p>ファンの動きが阻害されているか、回転していない。</p> <p>または</p> <p>放熱板がプロセッサに正しく取り付けられていない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションの通気孔が塞がれていないこと、また冷却ファンが動いていることを確認します。 2. カバーを開いた状態で電源ボタンを押し、プロセッサ ファンが回転するかどうかを確認します。プロセッサ ファンが回転しない場合は、ファンのケーブルがシステムボードのヘッダーに接続されていることを確認します。また、ファンが適切に取り付けられていることを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられ、ケーブルも接続されているのに回転しない場合は、プロセッサ放熱板アセンブリを交換します。 4. プロセッサの放熱板を取り付け直し、ファン アセンブリが正しく設置されていることを確認します。 5. HP のサポート窓口または公認代理店までお問い合わせください。

問題	原因	解決策
ワークステーションの電源が入らず、ワークステーションの前面の LED は点滅していない。	ワークステーションの電源が入りません。	<p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色になった場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 電源の後ろにある電圧選択スイッチが適切な電圧に設定されていることを確認します (xw4100 のみ)。適切な電圧設定は地域によって異なります。2. システムボードの 5.5V 助けランプが点灯するまで、拡張カードを 1 枚ずつ取り外します。3. システムボードを交換します。 <p>または</p> <p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色にならない場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ワークステーションが、問題なく機能している AC コンセントに接続されていることを確認します。2. カバーを開き、電源ボタン ハーネスがシステムボードに正しく取り付けられていることを確認します。3. 両方の電源ケーブルがシステムボードに正しく接続されていることを確認します。4. システムボードの 5.5V 助けランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合は、電源ボタン ハーネスを交換します。5. システムボードの 5.5V 助けランプが点灯していない場合は、電源を交換します。6. システムボードを交換します。

ハードウェアの設置に関する問題の解決方法

追加のディスクケット ドライブなど、新しいハードウェアを追加したり、取り外したりした際は、ワークステーションを再構成しなければならない場合があります。プラグ アンド プレイ対応のデバイスを取り付けた場合は、オペレーティング システムによっては、自動的にデバイスが認識され、ワークステーションが構成されます。プラグ アンド プレイ 対応ではないデバイスを取り付けた場合は、そのデバイスを取り付けた後に、ワークステーションを再構成する必要があります。

問題	考えられる原因	推奨される解決策
新しいデバイスがワークステーションの一部として認識されない。	デバイスが正しく取り付けられていないか、正しく接続されていません。	デバイスが正しく、しっかりと接続されていること、またコネクタのピンが曲がっていないことを確認します。
	新しい外付けデバイスのケーブルが緩んでいるか、電源ケーブルが接続されていません。	すべてのケーブルが正しく、しっかりと接続されていること、またケーブルまたはコネクタのピンが曲がっていないことを確認します。
	新しい外付けデバイスの電源スイッチが入っていません。	外付けデバイスがワークステーションによって認識されるように、いったんワークステーションの電源を切ってから外付けデバイスの電源を入れ、その後ワークステーションの電源を再び入れます。
	構成の変更を確認するメッセージを承認しました。	ワークステーションをリブートし、変更内容を承認するための手順に従って操作します。
	デフォルトの構成が他のデバイスと衝突する場合、プラグ アンド プレイ対応のボードは、自動的に構成されません。	コンピュータ セットアップ [F10] を使って、他のデバイスを再構成するか、無効に設定し、リソースの衝突を解決します。

問題	考えられる原因	推奨される解決策
ワークステーションが起動しない。	アップグレード時に間違ったメモリ モジュールが使用されたか、メモリ モジュールが間違った場所に取り付けられています。	<ol style="list-style-type: none">ワークステーションに付属のドキュメントで、正しいメモリ モジュールを使用していること、また正しい取り付け方法を確認します。ビープ音およびワークステーションの前面の LED を観察します。「ランプおよびビープ音の意味」を参照して、原因を特定します。それでも問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口までお問い合わせください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、5 回点滅し、その後 2 秒間停止し、ビープ音が 5 回鳴る。	メモリが正しく取り付けられていないか、不良です。	<ol style="list-style-type: none">DIMM を取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。問題のあるモジュールを特定するために、DIMM を 1 つずつ交換します。サード パーティ製のメモリを、HP 製のメモリと交換します。システム ボードを交換します。

問題	考えられる原因	推奨される解決策
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、6 回点滅し、その後 2 秒間停止し、ビープ音が 6 回鳴る。	ビデオ カードが正しく取り付けられていないか、不良です。または、システム ボードが不良です。	グラフィックス カードが装着されているワークステーションについては、以下の処置を行います。 1. グラフィックス カードを取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。 2. グラフィックス カードを交換します。 3. システム ボードを交換します。

xw4100 のランプおよびビープ音の意味

この項では、POST (Power-On Self-Test) の前または最中に発生する、フロント パネルのランプ (LED) のエラー や操作コードおよびビープ音の意味について説明します。

注記 : PS/2 キーボードの LED が点滅している場合、ワークステーションのフロント パネルの LED も点滅していないか確認し、点滅している場合は、以下の表を参照してその意味を判断してください。

以下の表の「推奨される処置」は、実行すべき順に記載されています。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
緑色の電源 LED が点灯している。	なし	ワークステーションの電源が入っています。	なし
緑色の電源 LED が 2 秒ごとに点滅する。*	なし	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が消えている。*	なし	ワークステーションが Suspend to Disk (ハイバネート) モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が 1 秒間に 1 回ずつ、3 回点滅する。**	なし	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が 1 秒間に 1 回ずつ、4 回点滅する。**	なし	ワークステーションが Suspend to Disk (ハイバネート) モードになっています。	なし

* 注記：コンピュータ セットアップ [F10] で [Unique Sleep State Blink Rates] が無効に設定されている場合、緑色の電源 LED はこのように動作します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、2 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	なし	以下のいずれかの理由により、プロセッサの過熱防止機能が作動しています。 ファンの動きが阻害されているか、回転していない。 または放熱板 / ファン アセンブリがプロセッサに正しく取り付けられていない。	1. ワークステーションの通気孔が塞がれていないこと、また冷却ファンが動いていることを確認します。 2. カバーを開いた状態で電源ボタンを押し、プロセッサ ファンが回転するかどうかを確認します。プロセッサ ファンが回転しない場合は、ファンのケーブルがシステム ボードのヘッダーに接続されていることを確認します。また、ファンが適切に取り付けられていることを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられ、ケーブルも接続されているのに回転しない場合は、プロセッサ ファンを交換します。 4. プロセッサの放熱板を取り付け直し、ファン アセンブリが正しく設置されていることを確認します。 5. HP のサポート窓口または公認代理店までお問い合わせください。
電源 LED が赤く、点灯し続ける。	なし	プロセッサが取り付けられていません(プロセッサの不良を示しているわけではありません)。	1. プロセッサが存在することを確認します。 2. プロセッサを取り付け直します。

** 注記：コンピュータ セットアップ [F10] で [Unique Sleep State Blink Rates] が有効に設定されている場合、緑色の電源 LED はこのように動作します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
電源 LED が赤く、2 秒間に 1 回点滅する。	なし	電源異常 (過重電流が発生しています)。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源の後ろにある電圧選択スイッチが適切な電圧に設定されていることを確認します。適切な電圧設定は地域によって異なります。 2. カバーを開き、4 線式電源ケーブルがシステムボードのコネクタに取り付けられていることを確認します。 3. いずれかのデバイスが問題の原因となっているのかどうかを確認するために、接続されているすべてのデバイス (ハードディスク ドライブ、ディスクケット ドライブ、オプティカル ドライブ、拡張カードなど) を取り外します。ワークステーションの電源を入れます。POST が開始された場合は、いったん電源を切り、取り外したデバイスを 1 つずつ戻します。障害が発生するまでこの手順を繰り返します。障害の原因となっているデバイスを交換します。すべてのデバイスが正しく機能することを確認するまで、デバイスを 1 つずつ戻します。 4. 電源を交換します。 5. システム ボードを交換します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、5 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	5	ビデオ用より前のメモリ エラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. DIMM を取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。 2. 問題のあるモジュールを特定するために、DIMM を 1 つずつ交換します。 3. サード パーティ製のメモリを、HP 製のメモリと交換します。 4. システム ボードを交換します。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、6 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	6	ビデオ用より前のグラフィックス エラー	<p>グラフィックス カードが装着されているワークステーションについては、以下の処置を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフィックス カードを取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。 2. グラフィックス カードを交換します。 3. システム ボードを交換します。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、7 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	7	システム ボードの障害 (ROM によってビデオ出力前に障害が検出されました)。	システム ボードを交換します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、8 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	8	無効な ROM(不正なチェックサム)	<ol style="list-style-type: none">1. ROMPaq ディスクケットを使って、ROM を再フラッシュします。 『Service and Technical Reference Guide』の「ROM Flash」の項を参照してください。Web リンクは <i>Documentation Library</i> CD にあります。 www.hp.com/support/ workstation_manuals (英語)2. システム ボードを交換します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
ワークステーションの電源が入らず、LEDは点滅していない。	なし	ワークステーションの電源が入りません。	<p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色になった場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源の後ろにある電圧選択スイッチが適切な電圧に設定されていることを確認します。適切な電圧設定は地域によって異なります。 2. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯するまで、拡張カードを 1 枚ずつ取り外します。 3. システムボードを交換します。 <p>または</p> <p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色にならない場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションが、問題なく機能している AC コンセントに接続されていることを確認します。 2. カバーを開き、電源ボタンハーネスがシステムボードに正しく取り付けられていることを確認します。 3. 両方の電源ケーブルがシステムボードに正しく接続されていることを確認します。 4. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合は、電源ボタンハーネスを交換します。 5. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯していない場合は、電源を交換します。 6. システムボードを交換します。

xw4200、xw6200、xw8200 のランプおよびビープ音の意味

この項では、POST (Power-On Self-Test) の前または最中に発生する、フロントパネルのランプ (LED) のエラーや操作コードおよびビープ音の意味について説明します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
緑色の電源 LED が点灯している。	なし	ワークステーションの電源が入っています。	なし
緑色の電源 LED が 2 秒ごとに点滅する。*	なし	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が消えている。*	なし	ワークステーションが Suspend to Disk (ハイバネート) モードになっています。	なし
緑色の電源 LED が 1 秒間に 1 回ずつ、3 回点滅する。**	なし	ワークステーションが Suspend to RAM モード (一部のモデルのみ) または通常の一時停止モードになっています。	なし

* 注記: コンピュータ セットアップ [F10] で [Unique Sleep State Blink Rates] が無効に設定されている場合、緑色の電源 LED はこのように動作します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
緑色の電源 LED が 1 秒間に 1 回ずつ、4 回点滅する。**	なし	ワークステーションが Suspend to Disk (ハイバネート) モードになっています。	なし
注記: 以下の LED の状態とビープ音については、ビープ音はシャーシのスピーカーではなくオンボード圧電スピーカーから聞こえます。点滅とビープ音は 5 回繰り返された後は、点滅だけが続けて繰り返されます。			
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、2 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	2	以下のいずれかの理由により、プロセッサの過熱防止機能が作動しています。 ファンの動きが阻害されているか、回転していない。 または放熱板 / ファン アセンブリがプロセッサに正しく取り付けられていない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションの通気孔が塞がれていないこと、また冷却ファンが動いていることを確認します。 2. カバーを開いた状態で電源ボタンを押し、プロセッサファンが回転するかどうかを確認します。プロセッサファンが回転しない場合は、ファンのケーブルがシステムボードのヘッダーに接続されていることを確認します。また、ファンが適切に取り付けられていることを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられ、ケーブルも接続されているのに回転しない場合は、プロセッサファンを交換します。 4. プロセッサの放熱板を取り付け直し、ファン アセンブリが正しく設置されていることを確認します。 5. HP のサポート窓口または公認代理店までお問い合わせください。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、3 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	3	プロセッサが取り付けられていません (プロセッサの不良を示しているわけではありません)。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロセッサが存在することを確認します。 2. プロセッサを取り付け直します。

状態	ビープ 音	考えられる原 因	推奨される処置
注記: 以下の LED の状態とビープ音については、ビープ音はシャーシのスピーカーではなくオンボード圧電スピーカーから聞こえます。点滅とビープ音は 5 回繰り返された後は、点滅だけが続けて繰り返されます。			
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、4 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	4	電源異常 (過重電流が発生しています)。	<ol style="list-style-type: none"> カバーを開き、4 線式電源ケーブルがシステムボードのコネクタに取り付けられていることを確認します。 いずれかのデバイスが問題の原因となっているのかどうかを確認するためには、接続されているすべてのデバイス (ハードディスク ドライブ、ディスクケット ドライブ、オプティカル ドライブ、拡張カードなど) を取り外します。ワークステーションの電源を入れます。POST が開始された場合は、いったん電源を切り、取り外したデバイスを 1 つずつ戻します。障害が発生するまでこの手順を繰り返します。障害の原因となっているデバイスを交換します。すべてのデバイスが正しく機能することを確認するまで、デバイスを 1 つずつ戻します。 電源を交換します。 システム ボードを交換します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、5 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	5	ビデオ用より前のメモリ エラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. DIMM を取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。 2. 問題のあるモジュールを特定するために、DIMM を 1 つずつ交換します。 3. サード パーティ製のメモリを、HP 製のメモリと交換します。 4. システム ボードを交換します。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、6 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	6	ビデオ用より前のグラフィックス エラー	<p>グラフィックス カードが装着されているワークステーションについては、以下の処置を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフィックス カードを取り付け直し、ワークステーションの電源を入れます。 2. グラフィックス カードを交換します。 3. システム ボードを交換します。

状態	ビープ 音	考えられる原 因	推奨される処置
注記: 以下の LED の状態とビープ音については、ビープ音はシャーシのスピーカーではなくオンボード圧電スピーカーから聞こえます。点滅とビープ音は 5 回繰り返された後は、点滅だけが続けて繰り返されます。			
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、7 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	7	システム ボードの障害 (ROM によってビデオ出力前に障害が検出されました)。	システム ボードを交換します。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、8 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	8	無効な ROM(不正なチェックサム)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ROMPaq ディスクケットを使って、ROM を再フラッシュします。 『Service and Technical Reference Guide』の「ROM Flash」の項を参照してください。Web リンクは <i>Documentation Library CD</i> にあります。 www.hp.com/support/workstation_manuals (英語) 2. システム ボードを交換します。
電源 LED が赤く、1 秒間に 1 回ずつ、9 回点滅し、その後 2 秒間停止する。	9	ワークステーションの電源は入りますがブートしません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. AC 電源を切った状態で 1 分間待ち、再度ワークステーションの電源を入れます。 2. 最近追加したハードウェアを取り外します。 3. マザーボードを交換します。

状態	ビープ音	考えられる原因	推奨される処置
ワークステーションの電源が入らず、LEDは点滅していない。	なし	ワークステーションの電源が入りません。	<p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色になった場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯するまで、拡張カードを 1 枚ずつ取り外します。 2. システムボードを交換します。 <p>または</p> <p>電源ボタンを 4 秒より短く押し続けます。ハードディスクドライブ LED が緑色にならない場合は、以下のことを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションが、問題なく機能している AC コンセントに接続されていることを確認します。 2. カバーを開き、電源ボタンハーネスがシステムボードに正しく取り付けられていることを確認します。 3. 両方の電源ケーブルがシステムボードに正しく接続されていることを確認します。 4. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合は、電源ボタンハーネスを交換します。 5. システムボードの 5.5V 補助ランプが点灯していない場合は、電源を交換します。 6. システムボードを交換します。

テクニカル サポートへの問い合わせ

テクニカル サポートが必要となる問題が発生することがあります。トラブルシューティング ツールを使っても問題が解決できなかった場合は、テクニカル サポートが問題を解決するのに必要な情報を確認できるように以下に注意します。

- ワークステーションがすぐ側にある状態で電話をかけます。
- 電話をかける前に、ワークステーションおよびモニタ（接続している場合）のシリアル番号、製品番号、モデル名、モデル番号を書き留めておき、サポート担当者にすぐに伝えられるように手元に置いておきます。
- 該当するエラー メッセージをメモします。
- アドオン オプションをメモします。
- オペレーティングシステムをメモします。
- サード パーティのハードウェアやソフトウェアをメモします。
- ワークステーション前面の LED の点滅をメモします。
- 問題が起きたときに使用していたアプリケーションをメモします。
- サポート担当者と一緒に問題を解決するには、ある程度の時間が必要であることを想定しておいてください。

注記: テクニカル サポートに電話すると、ワークステーションの製品番号（P8814A など）を求められることがあります。ワークステーションに製品番号が付いている場合、通常は、10 衍または 12 衍のシリアル番号の隣に記載されています。

注記: ワークステーションのシリアル番号ラベルの位置については、13 ページの「シリアル番号と COA ラベルの位置」を参照してください。通常は、シリアル番号と製品番号のラベルは、ワークステーションの背面に貼られています。

テクニカル サポートについては、HP のサポート窓口へご連絡ください。<http://welcome.hp.com/country/us/eng/wwcontact.html> (英語)

索引

C

CD-ROM ドライブ
 オプティカルドライブを参照
COA ラベルの位置 1-13

D

Documentation Library CD
 使用 vi
 内容 v, vi
DVD-ROM ドライブ
 オプティカルドライブを参照

E

Energy Star2-3
E-Support4-2

H

HP Help and Support Center4-2
HP Insight Diagnostics4-1
Hyper-Threading 技術 2-8

I

IEEE-1394 コネクタの位置 1-2,
 1-3, 1-4, 1-8

L

Linux オペレーティング システム
 Hyper-Threading2-9
 インストール 2-8
 起動 2-5
 最新のドライバ 2-6
 追加情報 2-5

ハードウェアの互換性 2-7
復元 2-6
プリインストール 2-5
有効 2-7

P

Product Bulletinvii

S

Subscriber's Choicevii

U

USB ポート
 フロント パネルの位置 1-2,
 1-3, 1-4
 リアパネルの位置 1-5, 1-6,
 1-7, 1-8

W

Windows ロゴ キー 1-11
Windows オペレーティング システム
 起動 2-1
 言語の選択く 2-2
 追加情報 2-2
 復元 2-2
 プリインストール 2-1

あ

アクセサリ 3-2
アクセシビリティ 2-4
アクセスパネル キー 1-7, 1-8

い

イージー アクセス ボタン
カスタマイズ 1-10

お

オプティカル ドライブ
位置 1-2, 1-3, 1-4
取り出しボタン 1-2, 1-3, 1-4
ランプ 1-2, 1-3, 1-4
オペレーティング システム
Linux2-5
Windows2-1

き

キー ボード
PS/2 コネクタの位置 1-5
カスタマイズ 1-10
機能 1-9
コネクタの位置 1-6, 1-7, 1-8
接続 1-1
規制情報 vii
機能
 シャーシ 変換 3-2
 セキュリティ 3-1

く

グラフィックス アダプタの位置
1-5, 1-6, 1-7, 1-8

け

ケーブル 接続 1-1
ケーブル ロック
 説明 3-1
ケーブル ロック
 スロット の位置 1-5, 1-6, 1-7,
 1-8

こ

コンポーネント
 フロント パネル 1-2, 1-3, 1-4
 リア パネル 1-5, 1-6, 1-7, 1-8

さ

サポート ソフトウェア 2-3

し

シリアル コネクタ の位置 1-5, 1-6,
1-7, 1-8

シリアル 番号 の位置 1-13

せ

セキュリティ 機能
 アクセス パネル ロック 3-1
 ケーブル ロック 3-1
 施錠用 ループ 3-1
 ソレノイド カバー ロック 3-1
 ポート セキュリティ ブラケット
 ト 3-1
 ユニバーサル シャーシ クラン
 プ ロック 3-1
 施錠用 ループ 1-5
 位置 1-5, 1-6, 1-7
 説明 3-1

そ

その他の 製品 情報 v

ソフトウェア

復元

 Linux2-6
 Windows2-2

 セットアップ 2-1

て

ディスクエット ドライブ
 位置 1-2, 1-3
 取り出しボタン 1-2
 ランプ 1-2
テクニカル サポート 4-24
デバイス ドライバ
 Linux2-6, 2-7, 2-8
 Windows2-2
電圧選択スイッチ
 設定 1-1, 1-5

電源

ボタン 1-2, 1-3, 1-4
ランプ 1-2, 1-3, 1-4

電源コード

位置 1-5, 1-6, 1-7, 1-8
接続 1-1

と

ドキュメント vi

トラブルシューティング

E-Support4-2
HP Help and Support Center4-2
HP Insight Diagnostics4-1

一般的な問題 4-5

お客様自身 4-1

基本的 4-4

ハードウェアの設置 4-9

ビープ音 4-11, 4-18

有用なヒント 4-2

ランプ 4-11, 4-18

ね

ネットワークコネクタの位置 1-5,
1-6, 1-7, 1-8

は

ハードウェアのセットアップ 1-1
ハードディスクドライブ ランプ
1-2, 1-3, 1-4

パラレルコネクタの位置 1-5, 1-6,
1-7, 1-8

ひ

ビープ音 4-11, 4-18

ふ

部品 vii

プリンタ、接続 1-1

フロントパネルのコンポーネント
1-2, 1-3, 1-4

へ

ヘッドフォンジャックの位置 1-2,
1-3, 1-4

ま

マイクコネクタの位置 1-2, 1-3,
1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8

マウス

PS/2コネクタの位置 1-5
コネクタの位置 1-6, 1-7, 1-8
接続 1-1
特殊機能 1-12

も

モニタ

接続 1-1
ディスプレイのカスタマイズ
2-4
トラブルシューティング 4-3

ゆ

有用なヒント 4-2

ユニバーサルシャーシ クランプ
開口部 1-5, 1-6, 1-7, 1-8
説明 3-1

ら

ラインアウトコネクタの位置 1-5,
1-6, 1-7, 1-8

ラインインコネクタの位置 1-5,
1-6, 1-7, 1-8

ランプ 4-11, 4-18

り

リアパネルのコンポーネント 1-5,
1-6, 1-7, 1-8

わ

ワークステーションの電源を切る
2-9

